

Rey Camoi

スペイン便り

鴨居 玲

△二紀会会員▽

私の村の人達



皆様有り難う

今年の一月早々「心が痛くなるような悲しい人形」を描き続ける岩島君と、ルーヴル美術館に出掛けた時のことである。

館内を歩いていると、確かに何処かで、一度会ったことがあるような、日本人の画家らしい人と出会った。『誰だったかなあ』と考えているうちに、ふと視線が会つて『やあ、今年もよろしくお願ひいたします』と思わず口走ってしまったが、相手はそのまま「ああ……」と頷きながら、私の傍を通り過ぎて行ってしまった。岩島君が「先輩、今の方は、誰れか偉い方ですか……？」
「いや、それが誰だったか、今考えているところ、ケベケベケベ」

「何です、そのケベベケベ、というのは。」

「これはポルトガル語で、エートエートと言つて、考える時に使用する言葉です。エート、アリヤ待つて下さい

よ。確かにあの人は、私の会の一般出品者。あの人審査員である私に向つて『ああ』と言つて反り返るとは……』
『しかし、先輩の方から頭を下げたんですぜえ……、マア、貫禄負けでんなあ――。それに着ている物もあの人の方が上物でしたぜ、エヘヘ……。』

『ウヌ、許せぬ!!』

早々にルーヴルを出てカフェーに入り、何故に私が人並に尊敬されないかについての徹底的な研究会となつた。

『あのねー岩島君、そのー、なんですかどもね、明らかに私よりくだらぬと思われる絵描きでさえ、展覧会シーズンともなれば、自分で酒を買う必要がないとさえ言われる位に、出品者からの贈物があるそうです。しかるにです、私はですね、私は会の審査員、それも並とは違つて□印付きの審査員でありますよ、貴君。応募用紙に

記載されているのを知っているでしょ。何、見たことない、まあ、今度よく見て御覧。それなのに贈物どころか

「今年もよろしくお願ひします」等と、何故私が言わねばならぬ、許せぬです!!」

「そりや、先輩は□印は□印かも知れんけど、どうもその□印が……。」

「貴君、私の空耳かも知れませんが、キ印とか、あるいはそのような気持を籠めて、さつきから発音してはいませんか……?」

「そんなことありませんとも……。」

「それなら良いですが。」

「その□印がですね、何故人並に尊敬されないかという問題を、分析してみますと、結論として、あの□印に贈物をしても仕方がない。バカバカしい。無駄である。頼りない、おだてりや一発、住所不定である。スキヤンダルが多い。とまあこのあたりのところでしようか、更に申せば……。」

「まあええです、他の人のことはこの際諦めるとしまして、貴君はどうなのですかね、学生時代から吾が家に入りしだしてより、既に二十数年になるというのに、盆、暮れの挨拶どころか、貴君は反対に……。」

「いかんいかん、そのような愚痴は言うものじやない、ちやんとわかっています、わかつてますとも、物じやないよ心だよ!!(何か流行歌で聞いたような気がするが)心ですよ、心、私はね——、先輩の壯絶とも言えるような生き方に、初めて、眞の絵描きというものを知ったんですよ……。」

「いやいやとてもとも……。」

「自分の人生觀を揺るがるようなショックを先輩と出会ったことによつて、私は受けたのですよ」

「……どうだね、君、少々、持ち合わせがありますが、絵の具代持つていきませんか……。」

「いや結構です。何時もお世話をばかりなつておりますからして……。」

「なにを言いなさる、構いません構いません持つて行きなさい。」

「私はいつも先輩から、お世話にばかりなつて、なんのお返しも出来ないのが心苦しい、どうしたら、良いのでしょうか……?」

「……それは君、君がですね、良い仕事をしてですね、その何です、その又次から来る若い人の世話ををしてあげれば良いぢやありませんか……。」

「それではお言葉に甘えまして、遠慮なく……」と言つて彼は、お相撲さんが賞金を受け取るような手付きをしながら、お金を懐に入れた。

すがすがしい気持ちになつて、カフェーを出るには出たが、またしても「次の時に必ず返してよ」と、言う機会を失つてしまつたのが、なんとなく残念。

やはり人が分析した通りに、私は貰ふがなくて、オツチヨコチヨイのかも知れぬ、まあ、仕方がない。オツチヨコチヨイといえば、偶然のことから住み付いた、スペインの小さな村も、私に輪をかけたようなオツチヨコチヨイで、そして陽気で頑固な愛すべき人達の住んでいる所であった。

マドリードから南に二百キロ位、例のドン・キホーテの舞台になった、ラ・マンチャ地方である。

その村に、私と非常に氣の合つた、マノロ君といふ野菜を作つて、それを奥さんが市場で売つて、生活している若い夫婦がいた。

ある時、フト思つて、日本から大根の種を取り寄せて、作らせてみたところ、土が固いので少々、いびつにはなつたが、見事な大根が出来上つた。

喜んだマノロ君、「俺ワ、スペインデ、初メテノ事ヲ成シトゲタ男デアル!!」と飛び上つたのだが、保守的な村のこと、「こんな化け物のようで、妙にヒリヒリするものが喰べられるか……」とお客様の評判は散々、「ア、俺は駄目な男ダ……」と、今度は地べたにへたり込んで泣き出すので、これは大変ことになつたと、畑一面

の大根を全部車に積み込んで、それから連日、マドリードの友人、日本人レストランに大根の配達、「これは懐しい久しぶりの日本の味」と大好評だったが、当方は車も体も大根も臭くて、たまたものではなかった。あるレストランにいたっては「この大根、以後、続けてくれるならば、契約したいが……」等と言つてくる始末。

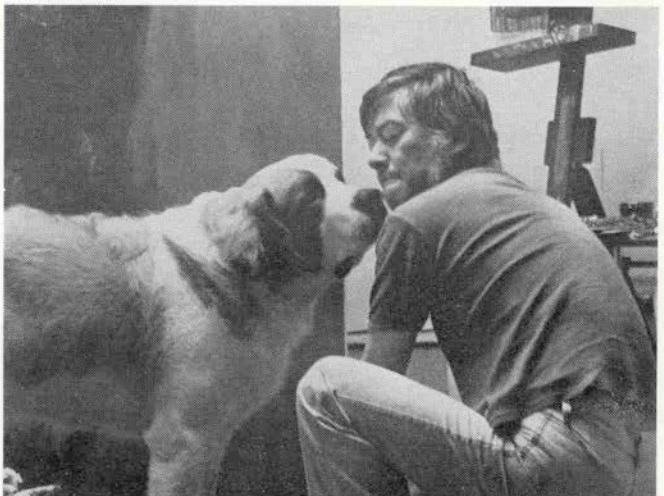
その大根も今ではスペインのカブラと混血したものか形だけは、日本の大根だが、あのヒリヒリがなくなつて妙な物になつっていた。結構、村では評判になり、その後は売れている様子、大自然の妙というか、面白いものであつた。

大根と人間を一緒にしてはいけないが、南米や、アメリカの二世、三世も、やはり、このような変化をなしているようである。

この大根騒ぎの時に、ふと、「日本には種無し西瓜というものがある」とつい余計なことを口走ってしまったばかりに、またもや大変なことになり、ただでさえ、けたつたましいスペイン語が、更に大きくなり、その西瓜について議論していた村人達が、「トコロデ、カモヰ、ソノ、種無シ西瓜ノ種ト言ウノワドノヨウナ物カ……？」改まつて尋ねられると私もそれがどのような物か自信がなくなり、これはいかぬと、



村の楽隊（ドラム）



アトリエで制作中愛犬チーターと戯れる筆者

「日本デワ、コノヨウナ時、ドウスルノカ……」と言うので、

「私は無宗教であるから親父の習慣に従つてただ酒を飲む」と答えたところ、徹夜で数人がそれも、たえず私の顔を注意しながら、村のBARのはしごを付き合つて呉れ、教会の前では、ヒゲ面の男達が、大きな声で、「サンタ・マリア様」と母の為に祈りを捧げてくれた。

「マノロよ、私は、私の今の気持ちを電報で日本に知らせたいのが……」

早速、皆で考えて呉れた文面は、

“PARA MI MADRE GRACIAS ADIOS”

即ち「私の母よ、有難う、さようなら。」

村を去る日、駅まで多くの村人が送つて呉れた。マノ

ロ君が、

「カモキ、コノママ村デ、共ニ歳ヲタル事ワデキナイノカ……」と泣きながらマドリードまで急行の切符を買って呉れた。それを、これも又泣きながら、なんとなく見ていたマノロ君の奥さんが、突然駅員にむかって、とてもない早口で叫びはじめた。

「何故、此ノ汽車ワ、マドリードマデ少ナイ時間ナノニ同ジク、マドリードマデノ他ノ長イ時間ノ汽車ヨリ値段が高イノカ……」

あまりの大声に、何事かと出て来た駅長さんも「何故短イ時間ナノニ、長イ時間ノ汽車ヨリ、高イノカ、オカシイデワナイカ!!」と叫んで、ヒヨツツストルト、俺達ワ今迄、トンデモ無イ計算違イフシティタノデワナイカ……」と一瞬ボカノとなつて「ソレワ——」と考え込んでしまつたものである。

この村に住んで居る時に、私は、「母死す」の電報を受け取つた。村人が尋ねて立つて居る私にもうこれ以んで一人づつ、門の内側に立つて居る私にもうこれ以上の悲しみは表現出来ないとばかりに脱帽して、私に握手をして行く。中には倒れんばかりの握手もあつた。そしてマノロ君が、

この村に住んで居る時に、私は、「母死す」の電報を受け取つた。村人が尋ねて立つて居る私にもうこれ以んで一人づつ、門の内側に立つて居る私にもうこれ以上の悲しみは表現出来ないとばかりに脱帽して、私に握手をして行く。中には倒れんばかりの握手もあつた。そしてマノロ君が、

「絵」（日動画発行）より

レディのためのハイセンスな小部屋……

バブ的なお値段でステキなムード。

音楽にのってリズミカルな動き。

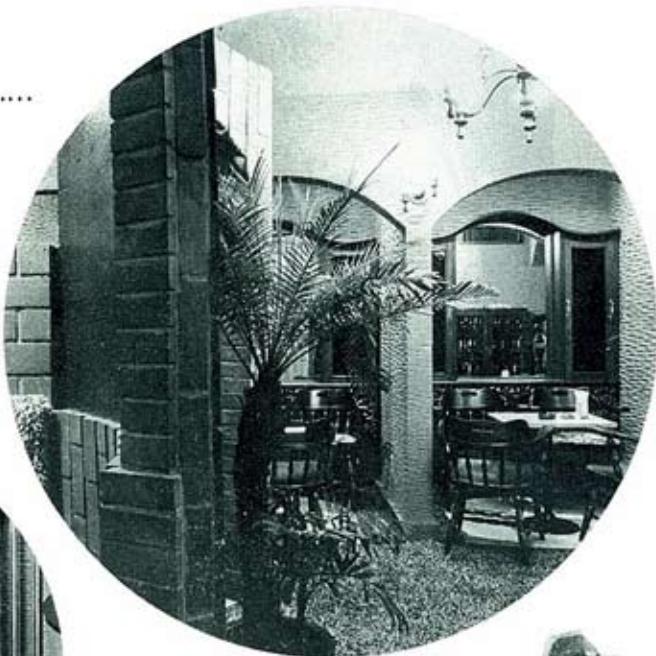
オーディオのこった店です。

まるで女王さまになったような気分。

いやなこと全部……わすれさせてくれる。

もう一度必ず来てみたい。

そんな気持にさせてくれる店。



毎夜、生演奏が入ります。
夜8時から営業。



MEMBER'S LADIES CLUB

女の日時計

神戸市生田区下山手2丁目29番地5(アマツビル4階)

神戸レディスサウナ西隣 TEL (078)332-3130(代)

□第1回神戸文学賞受賞作品

連載
2

島之内ブルース

田靡 新
え／中西 勝



ボクはオナニーより夢精の方が好きだ。どちらも短い時間の筈だ。闇の中にめくるめく野放図なひろがり。思

いもよらぬ衝撃の連続。夢精は抑えられた潜在意識をえぐりだして噴出する。それが好みにあつてゐる。

自慢じゃないけど、夜眠る前の頭脳の冴え方は凄いんだ。それに比べて朝の目覚めが、いつそうボクを悲しませる。受験勉強が、ボクを朝嫌いにしてしまつたともいえる。夜明けに希望はない。勃起だけが息づいてゐるのに、いくつしむ気になれない。ボクは急いで電車通りへ駆けだす。高架駅のホームから見える一本の大樹に、けさも挨拶をかわす。朝陽に向つて、緑の光線をふりまいっている。太い幹がらせりあげる葉の群が、まるでさざ波だ。低い家並みに反射するひかりがまぶしい。ゆつたりと深呼吸をする。動悸が伝つてくる。ボクはいつまで眺めていてもあきない。快い気分だ。さっぱりと何もかも忘れられる。わずかな風にも葉さきは敏感にゆれ動く。風を大地から吸いあげ、一面にうす緑の葉っぱがひるがえる。ボクのもつとも好きな瞬間だ。あつさりした大男を眺める感じ。ボクは快い興奮に頬を染める。楠か。まだ名を知らぬ。名のない樹がまたいいと思う。あの大樹を眺めていると、この一年を受験だけにこだわらないぞという気になる。大地から脈みやくと続いてきた血筋。時間——いまようやく大人への道を歩みだしたボク自身との出逢い。人間の三代も四代分も生きてきた樹木。夢をみているような気分になる。この樹を眺めているとボクの親父や祖父の血筋を辿りたくなる。

親父の職業は塾業とでもいえる。昔といつてもボクが小学校のころは、書道や絵を近くのガキどもを集めて習わせていた。ワケの解らない墨絵やえのぐ絵に子供たちの親がやめさせていった。趣味的な余裕が薄らぎ、世がまさに受験時代に推移したのと一致している。わずかにソロバン塾だけが残り、部屋を貸しているだけだ。いまは、むしろおふくろの方が近所のおかみさん相手に手芸

やお華、お茶の稽古事をやつてゐるだけだ。

ボクは親父とおふくろの出逢いや愛に興味を持つがむしろその前に、つまり祖父母たちの方にずっと深みを感じる。この地が廓だつたこともあるからだが。

先日、親父の本箱へ双眼鏡を探しに行つたとき、カセットテープを見つけだした。狭い本箱は疊がしわむほど密に積み重ねてあるのだが、その奥にテープの箱が眼についた。親父が大切に保存しているところをみると、何か貴重なものなのようだし、子供たちに聞かせたくない秘密にいたみだらな音の記録かも知れない。ボクは後の方の考えに襲われ、ラジオにテープをセットするまで指先がふるえていた。だが、何のことはない。この春から運動をはじめた『橋を庶民のものにする市民連合』の決起集会の挨拶なのだ。

最近、親父とは疎ましく口を利かないのに、ボクはこのテープを聞く気になった。

——この歳になって、このように私が市当局の都市計画そのものの行政にタテツクことは、非常に忍び難いものがあります。が、しかしであります。なぜに齡五〇余年を経た私をここまで追い込んだものは、いつたい何でありましょう。行政側も、住民ひとりひとりの意見は、なかなか聞き入れてくれない。地元住民の総意が得られなければ、聞く耳を持ちません。幸いこの市民連合の設立と同時にようやく重い尻をあげてはくれたものの、住民の意識とは、おうよそかけ離れたところでのデスクプランのみ拘わり、住民不在のまま計画を進捗するところは、昔もいまも変つておりません。

変つたのはかけ声のスローガンだけです。町に緑と太陽を、老人をいたわる愛のある都市づくりと口あたりはさわやかですが、そのことを行政面に反映するには、まだ時間がかかりそうです。相変わらず身分の保全と出世栄達を仕事だと心得ている役人どもが相手だということをキモに命じないと、おいそれとは発想の転換はしないであります。われわれもここで改めてふんどしを縮め

直さねばなりません。

親父の喋っている間、出席者のざわめきがいたん治まる。ざわめきが治ると、クルマや電車の騒音が、親父の声を打ち消すときさえある。またても人々のざわめきが戻ってくる。まるで潮騒だ。親父の話がここで中断されたとき、「女はふんどしがねえから股ぐらでも締めるか」と相の手が入る。どつと笑い声が噴出する。親父はかまつていらないらしい。

私はこの島内で生まれ、育ち、おそらくここで土に返るでしょう。幸か不幸か、この地を愛しているともいえますが、でき得るなら、空気のもつときれいな、もう少し人間らしく住める静かな環境に移り住みたい。しかし、いかにせん、そんな余分の資力がありません。そうなりますと、この地を元の環境に取り戻すしかありません。

こうした劣悪な環境も、ここ十年余りの間に誰もこんな状況になるとは知らなかつた。市当局もおそらく予想をしていなかつたでしょう。こうしてふりかえつてみると、われわれ大人たちが、全く無関心だったことが、今日の環境破壊をひろげてきたともいえます。いま私がそのことをどうこうといつてもはじまりません。われわれ庶民は、やはり島之内で生活をつづけてゆくことには変りはないのですが、ここでみなさんにも考えて頂きたいのです。われわれ老人は、もう余命いくばくもないので、この環境で我慢できるとしても、われわれの子供たちやそのまた生まれる子供たちの小さなのちと健康を考えると心が痛んでくるわけです。そこで、われわれはせめて次の世代の子供たちへ、少なくともこの島之内が故郷であると自信の持てる環境を守つてやらねばならない。遺産に足りるべきふるさとを守つてやることが、あたりまえだと考える次第です。

こうしたきわめて常識的な発想は、出席のどちらさまにもご理解が得られるものと確信いたします。

「島さんはまだ若いん、その上奥様も美しいけん、子

供はまだできるよ」また相の手が入る。どうやら前と同じ相手だ。一ぱいひつかけて町内の常会みたいなつもりらしい。以前ほど人は笑わない。そればかりか「静かにしなよ」と女の声が後を追い消す。

——私はみなさんに訴えます。そして、これからも同じことをくりかえしかないので、この島之内の特殊な実情を勘案していただき、もう、これ以上環境の悪くなることは、狭い道路たりともきつぱりとお断り申しあげたい。もう公共の福祉をちらつかせる役人どもを信じません。便利さも返上します。少しぐらい不便でも、ほんとにここに住民にとって橋がいるのなら渡し舟でもよいと考えているのです。

埋立地の発電所増設もいりません。停電だつて、実際に誰が困るかはつきりしているのです。暗闇だつて、工場がストップすれば星空が顔をだすでしょう、静かな夜が戻つてくる筈です。

少し昂奮して極論を申し上げましたが、私はこんな方法でも武装できるのなら、また本来の人間らしい生活がとり戻せる方法を選んでもよいと考えています。

「ロウソクで、もういつべんじよろうやをやるか」

ボクには相の手が聞きとれなかつた。再びテープに戻し聞き直す。「もういつべん女郎屋をやるか」ボクの胸がぶく痛んだ。テープは單々と親父の声をつづけていく。

——そして私は考えますのに、このような住民運動が、なぜ若い人たちに受け継がれないのかとただただ残念に思うひとりです。だが、最初から若い人の参加を望むのはムシがよすぎましよう。生活の基盤も違います。お務めも含め、管理された社会内での動きにくさは、なにも島之内の青年だけの問題じやないでしよう。そして、もうひとつ、すでにこの島之内は昔の面影を失い、環境はいちじるしく損われています。その責任が、いま若い人から問われているともいえるでしよう。自然をいたわる心を失い、行政の一方的な押しつけに無関心だったその



責任は、いま負債としてわれわれが背負わされているのです。ですから過去に於てなんの行動もとりえなかつた大人たちの悪しきマネをやめ、いまよりもよい方法を若い人も考えてもらいたい。これはお願いでございます。できますれば、こんご時間をかけて若い人たちとも話しあえばご理解がえられるものと信じます。かなりの時間が要しましようとも、運動の持続は真に若い人の協力が必要であります。この運動は決してカッコのよいものではありません。しかしいるいり試行錯誤をしてゆくなかから新たな運動体の中味を築きたいものと……

テープは、ここで大型トラックのエンジンの音に消されてしまつている。駅前の町内会館での集録だ。前のバス道をはさんで、通過する電車のレールの音、警笛。バス停を発車するジーゼルエンジンの爆音。排気ガスを思ひのまま吐きつける黒煙が眼に浮かぶ。どんな音でも吸収する集録マイクは、街の暗騒音までキヤッチしている。ここでも人間の言葉が消されている。錢のある奴もない奴にもこの騒音を聞かせてやりたい。ほんとは親父の話を聞いてもらいたいのだが。結局、この騒音が気にならない奴は、神様か死人なんだ。その上のクラスが、自分でクルマを持ち他人のことなど考えずに生きる奴。気にしてどうせしやあないとあきらめの早い奴。その上のクラスは仕事、メンツ、出世欲、メシの喰い代のためなら、どんな我慢でもできる奴。こんな奴がいちばん多く、それでいて他人のやることにいちいちケチをつけたがる。親父は、どのクラスかな。諸悪の根源はクルマを含むスピード感だという。より速く、より高く、より楽に、この文明を目のかタキと考えているのだから。若者からスピード感を断てば、死しかないということが判らないのだ。

おふくろに聞くと、この住民大会は町内の八十名が集つた。親父の熱心さにはだされたり、多少の義理もからんでいるだろうが、第一回目とあつて関心は高かつたといふ。新聞社とテレビ局が、またもや住民パワーだとい

ニュース記事を紹介した。

亀さんはあきらめない。

「父の年代の話だと『初島』と駅名をいうのがでれくさボクは一ヵ月ほどして、ようやく話し相手とめぐりあつた。予備校生は、いわばライバル同志。うわづらだけの交際はあっても互いに心を割つての話し合いはない。

ましてプレイについて一緒にエンジョイすることはなま。まだその相手の名前を知らない。ニキビ面だからニキビと呼んでもよいが。そのうちニックネームをつけよう。この間、帰りが一緒だったので喫茶店に入った。ニキビは二浪だという。余り勉強熱心でないところが共通している。ボクよりひとつ上には見えない。物に動じるところがない。鈍感なのか、のんびり屋なのか。なんでも大人びたところがシャククだが、根は善良そうだ。しおつちゅう指の爪をかむ。鼻くそをほじる。その指であごのニキビをつぶす。可哀相にもう髪が薄い。額がひろく眼鼻だちが甘い。ボクは包皮のむけたペニスを想い出す。話していくも、額をみているとボク自身の裸と対面している感じ。他人の顔から、犬とか猿とか、鳥のイメージが重なるときがある。彼には申し訳ないが、どうみても亀頭なんだ。くすぐったい胸のうちが、唇にこみあげてくる。

「亀さんと呼んでいいかい」

彼はきよとんとして下眼つかいにボクを見あげるが、反応は鈍い。唇の端にくわえた煙草を立てたり寝かせたり、ともかく生意気だ。

昨日、ボクが遅れて後のドアからしのび足で教室に入る。空いた席を探すと、その隣りが亀さんだ。そのまま午後まで過ごし、帰りが一緒になった。

「島之内いうたら、もと遊廓やろう」
亀さんが、島之内をまだそんな風に想つてることはシヨックだ。

「ひつそりした打ち水の路地。格子窓からの明るいひかり。長い一間のれん」
「そんな面影はどこ探してもないな」

「父の年代の話だと『初島』と駅名をいうのがでれくさくて、切符買うとき、いつもひとつ向うの駅名をいうていたそうや」

「嘘だと思ったら、一度こいよ」

気の早い亀さんはそのままついてくる。電車が広い河口を渡りかかる。堤防わきの低い家並みを見下しながら電車はホームに停る。

「いつの間に高架になつたんや」

亀さんは珍しそうに街を眺める。ちょうど北側の駅前ビル工事の現場が見下される。道路ぎわには、高い鉄板の塀をしているのだが、ホームからはその匂いのなかの舞台裏が俯瞰できる。クレーン車に高くつりあげられた堀削器が目の高さにある。専門語は知らないが、ドラム缶のなかへするすると落下する。可成り深い。湿地帯だからわけなくはさみ込んだ泥を地上のタンクに吐きだす「あれをみろよ。ペニスに似てへんか」

亀さんがスコップを抱きあわせた例の堀削器のことをいう。こけしに似ている。

「大人のおもちゃか。よう似ているな」

泥をつみこんでタンクにぶちあけるクレーンは心なしか、ペニスをゆさぶり、ちようど滴をはじく仕種をする。スコップの部分が固くくびれ、重油でぬらぬらしているのに、亀頭の部分が磨かれてびかびかにひかっている。「掘つたり、えぐつたりするには、あの形がいちばんふさわしいんやな」

西陽がまともに、ペニスをまぶしく包みこんだ。リモコン風に操られながら、ドラム缶のなかへ急直下する。ボクは工事現場から目を駅の南側へ移した。アパート群の屋根の向うに、大樹があつた。おびただしい葉が、風にゆらいでいる。さわやかな気分が、胸をよぎる。このことを亀さんに伝える気はない。

「高架になつたら、どこの街も似たりよつたりやな」
亀さんが悟つたようなことをいう。
(つづく)

talk and talk



く神戸っ子愛読者サロン

★今年の民芸公演のレパートリーのなかに、拙作「十二月」の予告が出ておりましたが、「十二月」は私が、はじめて本名の「祐士」で書いた作品で、そのなかにも神戸ができます。

私は小さい時から神戸によく行っておりましたし、私の伯父は三宮で表表(花ござ)の輸出商をして、毎年夏休みには、父に連れられて神戸に行っています。中⼭手の小寺の傍らにも母の妹が住んでおりましたので、慶應に行きながらも、休暇になると、やがてから宝塚や大阪へ須港に遊びに行きました。

そんなわけで、今でも神戸は私の第二の故郷のような気がしていますので、貴「神戸っ子」を読むのが楽しく、いただいた本は、全部保存しております。実際に新しい本ですね。

今年は文学座四十年創立の年に当りますので、杉村春子のために「金木犀はまだ咲かない」という歌曲を書くより能のない男なので最後まで頑張りますから、よろしく世田谷区 小山祐士

☆小山先生なつかしいお手紙がありがとうございました。第二の故郷を愛しんで頂くと本当に嬉しい

★今年の民芸公演のレパートリーのなかに、拙作「十二月」の予告が出ておりましたが、「十二月」は私が、はじめて本名の「祐士」で書いた作品で、そのなかにも神戸ができます。

私は小さい時から神戸によく行っておりましたし、私の伯父は三宮で表表(花ござ)の輸出商をして、毎年夏休みには、父に連れられて神戸に行っています。中⼭手の小寺の傍らにも母の妹が住んでおりましたので、慶應に行きながらも、休暇になると、やがてから宝塚や大阪へ須港に遊びに行きました。

そんなわけで、今でも神戸は私の第二の故郷のような気がしていますので、貴「神戸っ子」を読むのが楽しく、いただいた本は、全部保存しております。実際に新しい本ですね。

今年は文学座四十年創立の年に当りますので、杉村春子のために「金木犀はまだ咲かない」という歌曲を書くことになってしまいます。でよろしくお願ひますから、よろしく

☆小山先生なつかしいお手紙がありがとうございました。第二の故郷を愛しんで頂くと本当に嬉しい
★ほんとのすばらしさとは、一目見てバッとするような寄書きでもケバケバしさでもないと思う。しばらく考えてうんと喰るような。その意味で、神戸はまことにほんまんやと思う。同じ関西でも学生っぽい京都ややはり商人のじの大坂と違うわんなどいう感じでちょっととかんななってあたたかくアカねている。加えて気候温暖、山清水明、うまいもんぎょうさん。きょうび女性車の間でもてはやされる謎がとけた。何かにつけて比較される横浜が大東京のカゲにかかれて損をするのに、わが神戸は大坂に対して一步もひかず見上げたもんやと思う。それからどっちかいうたらアメリカ的な横浜やまるでもうドリトル、アメリカいうしたことあんねん)であるが神戸は何と言うてもヨーローバ的なんやなあ。そやからシャレとうや、そやけどこの町のええことはいくら僕が書いても始まりません。私は必ず足をはこんでまうることや。それからあとこのことは、町人がが、そして「神戸っ子」が助けてくれるはずや。そんな思います。さいなら。

☆福井市 細江康正

福井県鯖江市ですが、久里洋二さんの娘さんは経営している喫茶店「豆屋敷」で、シャレたカッブがたくさん並んでいます(編集部)★ご無沙汰しております。お元気でご活躍のこと存じます。二ドリカ建国二百周年記念に発行されたものです。しかし普段お目にかかるところをみますと皆コレクションとしてキープしているのであります。

★「Good Luck」といわれていますからプレゼントとします。ロスアンゼルス 新谷敦子

☆神戸っ子の新年にふさわしいプレゼントありがとうございます。新婚はやは

やの沢さん、ベビーの誕生のお知らせ待ってます。△編集部

★こくべ・コウべ・そして神戸の恵みのすべて。まだ中学生の時、戦後二年ぶりに生まれ故郷を見る母にお供して行ったのが、私と神戸との初めての出会い。あれから一〇年ちょっと、その間片時も忘れる事ができます、折るみには、乏しい財政の中からカネとヒマをひりだしては、海の公園を幾度となくのぞき、メーンストリートや小路の入り混った庭を散策し、六甲屏風をくはして奥座敷の湯煙の香に一人陶酔している私。いつかきっとこの町に住むのだと、思いつづ五十年も暮れてゆきます。隣家の台所からアーチと夕餉の匂をかぐように、この「神戸っ子」は東京の郊外においても常に神戸の匂いを運んでくれます。私も「神戸っ子」にして paddingBottom: 10px;">△編集部

☆お元気ですか。渡米前にお会いしたいと思ってましたのに出発しまから神戸を愛している人がいることと思うと、雑誌作りにも励みがでます。

△堺玉県新座市 平野幸子

☆全国のあちら、こちらに心の底にはヒーターを入れて、という結構な冬を過しました。緑の大木に家々は美しく久しぶりに仕事を離れ私にとってはとてもいい休暇のようです。

△編集部



しきかげが可愛いカード

I SOで静かなクリスマスを過ごすことがあります。では又。

△マドリッドにて 宮田昭子

☆かわいいクリスマスカードありがとうございます。不勉強なのでスペイン語で書かれたメッセージが解説出来ず残念です。△編集部

やの沢さん、ベビーの誕生のお知らせ待ってます。△編集部

★こくべ・コウべ・そして神戸の恵みのすべて。まだ中学生の時、戦後二年ぶりに生まれ故郷を見る母にお供して行ったのが、私と神戸との初めての出会い。あれから一〇年ちょっと、その間片時も忘れる事ができます、折るみには、乏しい財政の中からカネとヒマをひりだしては、海の公園を幾度となくのぞき、メーンストリートや小路の入り混った庭を散策し、六甲屏風をくはして奥座敷の湯煙の香に一人陶酔している私。いつかきっとこの町に住むのだと、思いつづ五十年も暮れてゆきます。隣家の台所からアーチと夕餌の匂をかぐように、この「神戸っ子」は東京の郊外においても常に神戸の匂いを運んでくれます。私も「神戸っ子」にして paddingBottom: 10px;">△編集部

☆バール・クリエーターの高野さんがご主人とのアメリカ生活でまたどんな新しい発想が拡がりをお持ちになるか楽しみ。和張って見る母にお供して行ったのが、私と神戸との初めての出会い。あれから一〇年ちょっと、その間片時も忘れる事ができます、折るみには、乏しい財政の中からカネとヒマをひりだしては、海の公園を幾度となくのぞき、メーンストリートや小路の入り混った庭を散策し、六甲屏風をくはして奥座敷の湯煙の香に一人陶酔している私。いつかきっとこの町に住むのだと、思いつづ五十年も暮れてゆきます。隣家の台所からアーチと夕餌の匂をかぐように、この「神戸っ子」が助けてくれるはずや。そんな思います。さいなら。

△福井市 細江康正

☆バール・クリエーターの高野さんがご主人とのアメリカ生活でまたどんな新しい発想が拡がりをお持ちになるか楽しみ。和張って見る母にお供して行ったのが、私と神戸との初めての出会い。あれから一〇年ちょっと、その間片時も忘れる事ができます、折るみには、乏しい財政の中からカネとヒマをひりだしては、海の公園を幾度となくのぞき、メーンストリートや小路の入り混った庭を散策し、六甲屏風をくはして奥座敷の湯煙の香に一人陶酔している私。いつかきっとこの町に住むのだと、思いつづ五十年も暮れてゆきます。隣家の台所からアーチと夕餌の匂をかぐように、この「神戸っ子」が助けてくれるはずや。そんな思います。さいなら。

△堺玉県新座市 平野幸子

☆全国のあちら、こちらに心の底にはヒーターを入れて、という結構な冬を過しました。緑の大木に家々は美しく久しぶりに仕事を離れ私にとってはとてもいい休暇のようです。

△マドリッドにて 宮田昭子

が枝もたわわに実をつけています。もぎたての青いレモンはなかなかいい風味で、おいしいです。ロスヘイラッシュaimase。では又。

△カリフォルニア 高野妙子

幸運を呼ぶ 2ドル札がプレゼント

が枝もたわわに実をつけています。もぎたての青いレモンはなかなかいい風味で、おいしいです。ロスヘイラッシュaimase。では又。

△カリフォルニア 高野妙子

幸運を呼ぶ 2ドル札がプレゼント

Los Angeles California

WILSHIRE BEACH & MARINA PARK

WILSHIRE BEACH & MARINA PARK

金子真珠・高野さんから



朗らか姉妹そろって
目指すは免許獲得!

穂山 栄子さん(右)

穂山 知子さん(左)

「海外生活の体験から、車の運転が必要だなと思って」と知子さん「今なら時間に余裕があるから何か身につけたくて」と栄子さん。二人でドライブに出かける日ももう間近ですね。

●ライセンスローン開設!
公安委員会指定・技能試験免除

神戸自動車学院

☎581-1207 (代表)

神戸市北区緑町3丁目6番1号
(神鉄山の街下車)



■スタッフ紹介/池松国男さん(指導主任)

自動車学院では勤続14年目。運転指導では16年の大ベテランで良いドライバーとは良い歩行者でもあると力説。学院内の釣愛好会、魚筆の会、会計さんだ。

bal' on antique series

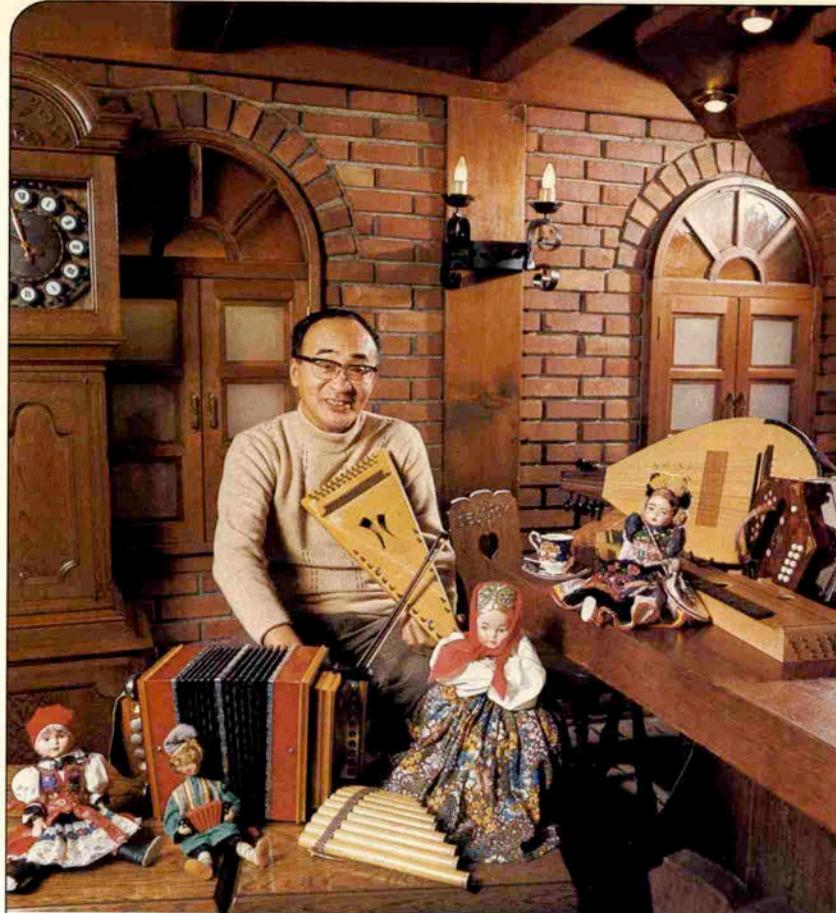
<46>民族楽器

立田 雅彦さん
(夢野台高校教諭)

室町時代の尺八「一節切り」がお父さんの遺品。これを機に楽器の収集が始まった。韓国やヨーロッパを歩いて回り、現地で買い求めた各種の楽器——世界各国の民族楽器が自宅の部屋じゅうにいっぱい、大小あわせて二百。しかもこの趣味が教材にもなるというので一石二鳥。

「学校から帰ると必ず一度はどれかの楽器を鳴らします」と語る立田さんは根っからの「音」好きだ。

センター街店にて
カメラ／米田定蔵



バロシ

★英国風喫茶・レストラン 三宮さんプラザ店
TEL 391-1758 AM11:00~PM9:00迄

★コーヒーショップ トア・ロード店
TEL 391-1210 AM10:00~PM9:00迄

★コーヒーショップセンター街店
TEL 391-1375 AM10:00~PM9:00迄

神戸のうまいもんとドリンク

★日本料理

讃岐名代うどん あこや亭
兵庫区旗塚通7-5 ☎ 331-6300
トアロード店 ☎ 391-2538
兵庫駅前店 ☎ 575-5306

北海道郷土料理 蝦夷

生田区中山手通1-115東門筋東門会館ビル1階
☎ 331-7770

和食くれない
三宮生田新道浜側中央KCBビル2F
☎ 331-0494

鍋もの・おむすび
お茶漬・おばた
悟味酉
生田区北長狭通1-20 ☎ 331-3848
三宮さんちかタウン ☎ 391-5319

たこ焼
たちばな
三宮センター街(旧柳筋) ☎ 331-0572

とうふ料理
東府家
生田区北野町3-53 ☎ 221-1148

お茶漬・おむすび
鍋もの
ふるり
生田区北長狭通2-1 ☎ 331-5535

かっぽう吉
生田区加納町3-95-1(ニュージャパン別館前)
☎ 241-3450

★西洋料理

レストラン アボロン
兵庫区八幡通5-6 ☎ 251-3231

レストラン 鹿皮(あらかわ)
生田区中山手2-9 ☎ 221-8547, 231-3315

ピザ&スパゲティ ガルの店
兵庫区琴緒町5-1-7 西山ビル1F ☎ 241-9025

鉄板グリル
きやんどう
生田区北狭通2-22 ☎ 331-1183

ステーキハウス グリル青山
生田区中山手通2-112-2(トアロード)
☎ 391-4858

ステーキ&
ドリンク
黒牛
生田区中山手通2-39-36 ☎ 241-3739

ステーキ&
ドリンクス
神戸館
生田区下山手通2-29-3 アマツビル1F
☎ 321-2955

スカンディナビア料理
と世界の民族音楽の店 ゴックスタット
生田区山本通3-18 回教寺院前 ☎ 242-0131

GALLERY &
STEAK HOUSE SAN-MON三門
生田区中山手通二丁目98-99 ☎ 331-5817

ケンズ
Ken'sケンズ
生田区下山手通2-29 ☎ 391-3212

Café et
Restaurant

アンドウトワ
生田神社西 伊藤ビル1F ☎ 391-8639

レストラン スイスシャレー
生田区北野町3-48アニルドマニション1F
☎ 221-4343

レストラン セントジョージ
生田区北野町1-130 ☎ 242-1234

レストラン 男爵
生田区中山手1-18
山手第一ビル1F ☎ 241-0778

メキシコ小料理亭 ティファーナ
生田区中山手通1丁目4-12 パールゴーラスピル1F
☎ 242-0043

maison de
la mode 花屋敷
三宮フラワーロード市役所前 ☎ 251-0315

ピザ・パブ ピザ・パテオ
生田区元町通1-49(元町1番街)
☎ 331-9378

フランス料理 ビストロドゥリヨン
生田区山本通2-40-1 ☎ 221-2727

ピッタハウス ピノツキオ
生田区中山手通2-101 ☎ 331-3545

ナイトラン 火の鳥
生田区中山手通1-27 ☎ 242-1330

ポリネシア料理 海賊焼
神戸港第4突堤ポートターミナル
☎ 331-0301

レストラン フック東店
生田区栄町1-5-3 ☎ 321-3207

レストラン ムーンライト
三宮・生田新道 ☎ 331-9554

グリル・鉄板焼 月
☎ 331-2506

レストラン 元町フルーツホール
元町1番街 ☎ 331-1987

ステーキハウス れんが亭
生田区下山手通2-34 ☎ 331-7168

BARBECUE & STEAK 六段
生田区元町通3 ☎ 331-2108

居酒屋 ロス・ヒタノス
生田区下山手通3丁目22
下山手セントラルハイツ
☎ 391-5431

レストラン フック神戸店
生田区栄町2-24 ☎ 321-3453

炭焼ステーキ 凱旋門
生田区下山手通2丁目6 新道ビル1F
☎ 321-3378

ブルグエビ料理
スパイスレストラン

ぶはら
生田区中山手通1丁目19 ☎ 251-0781
☎ 241-7017

ボロニア風
生バスターの店
力ブリオ
神戸三宮さんプラザB1F
☎ 391-5206

サバー&れすとらん
★喫茶

ティー&スナック
工ボツク
生田区元町通3(浜側) ☎ 331-3694

喫茶
ガーデニア
生田区東町113-1 大神ビル1F
☎ 321-5114

宮水のコーヒー
にしむら珈琲店
中山手店 生田区中山手通1-70
☎ 221-1872, 231-9524

センター街店 生田区三宮町2-35
☎ 391-0669

北野店 山本通2-9 ☎ 242-2467
(会員制) 3F事務所 ☎ 242-1880

コーヒースポット
メディタレーニアン
生田区北長狭通3(トアロード)アーバンビルB1
☎ 331-2050

珈琲モーツアルト
生田区山本通2-98グランドマンション1F
☎ 241-3961

ファッショナブル
ゾーン キングスコート
ティーラウンジ ペントハウス
生田区山本通2-111 キングスコート内
☎ 242-7090

珈琲
ん
生田区三宮町2丁目25(トアロード)
☎ 391-1589

club
飛鳥

club
小万
生田区東門筋中島ビル3F
☎ 391-0638, 4386

club
さち
生田区中山手通2-75 ☎ 331-7120

クラブ
千
生田区下山手通2-21 ☎ 391-1077

club
なぎさ
生田区北長狭通2-1 ☎ 331-8626

クラブ
ぶ一げん
三宮生田新道浜側中央KCBビル5F
☎ 331-8593

club
BIAU
Moonlight
BAR ☎ 331-0886, 391-2696
Club ☎ 331-0157

グラブるふらん
生田区北長狭通1-53 ☎ 331-2854

★STAND & SNACK
PUB & RESTAURANT アップランド
生田区加納町3-1-34 ☎ 241-8271

サロントロップ
生田区中山手通1-24-7
大和ナイトプラザ2F ☎ 231-3300

DRINK IS AN ART OF LIFE ウッドハウス

CAFE WHISKY 音楽の家・ETエトワTOI
生田区三宮町3-三宮センター街西入口
スカイトイアービル3F ☎ 332-1755

純会員制 エドワーズ俱楽部
生田区北長狭通1-28
ホワイトローズビル5・6F 生田新道
☎ 391-3300

S N A C K L M
生田区北長狭通1-25 生田新道ビルB1
☎ 321-3070

ナイトイン おしゃれ貴族
生田区中山手通1-24-7
大和ナイトプラザB1 ☎ 242-1925

スナック
蘭の花
生田区中山手通2丁目30-1
東門ダイワナイトプラザ5F ☎ 391-4455

スタンド
かてな
生田区中山手通1-90 英健ビル1F
☎ 331-1316

キヤンティ
本店洋酒の店
生田区北長狭通2-3
☎ 391-3060, 391-3010

北店スープとパンの店
生田区下山手通3-8-9 ☎ 331-3661

スタンド
グラムール
生田筋岸ビル地階 ☎ 331-4637

スタンド
くる実
生田区中山手通1-72 ☎ 331-6985

サロント
神戸時代
生田区中山手通1-21-28
モンシャトウカトブキビル ☎ 242-3567

カクテルラウンジ
サヴォイ
高架山側 テキの店北 ☎ 331-2615

スナック
聚利
生田区下山手通2-8-6 ☎ 321-0260

スナック
山莊
生田区北長狭通1-22 ☎ 391-5823

music spot サントノーレ
トアロード店 生田区下山手通2丁目3号
☎ 391-3822

北野店 生田区中山手通1-24-7
ダイワナイトプラザ6F ☎ 221-3886

スナック
レオパルド
生田区中山手通2丁目30-1
東門ダイワナイトプラザ6F ☎ 391-0992

DRINK SNACK
スネカリツ子
生田区下山手通2永晃ビルB1
☎ 391-8708

Wine and something
珍地理屋
生田区中山手通1-24-7
大和ナイトプラザ1F ☎ 242-0288

素舌洞
でつさん
生田区北長狭通1-258 ☎ 331-6778

スナック
ビジービー¹
生田区中山手2 ☎ 391-4582

スナック&ドリンク
姫
生田区中山手通1-18 ☎ 221-1950

ドリンク&
レストラン
ベルビュードール
生田区中山手通2-101 大洋ビル2F
☎ 321-5677

居酒屋
ボルドー¹
生田新道浜側中央KCBビルB1
☎ 331-3575

STAND MASHUKEADA
生田区中山手通2-30-1 東門大和ナイトプラザ2F
☎ 331-5587

スナック
美和
生田区下山手通1 ☎ 391-3050

スナック
興志務樂亭
生田区山本通2-60 パールライフB1
☎ 242-1977

スナック
ルカカルトン
生田区北野町3-2-67 ☎ 241-4323

スナック
神戸ホンキートンク
生田区加納町2-30 ☎ 241-2161

スナック
サンデリカ
生田区中山手通1-90 ☎ 392-1434-6

★KOBE PLAY GUIDE MAP★ 神戸のうまいもん



スナック

JEAN PATOU 生田区北長狭通2丁目5-1 ジャン パトウ

安部ビルB,
☎ 392-1625

小鉢ものは手づくりの味。若い人が多く、ボックス席もあるのでグループでも楽しめる。ロバートブラウン / キーブ 6,000 水割 500 キリンビール（小）400 6:00 PM ~ 1:00 AM 第1・3日曜休み



アメリカン

生田区元町通2丁目8-1

☎ 321-2854

体格のいいマスターはフットボールの選手。いつも陽気な仲間の集まる安く楽しく飲める店。ロバートブラウン / キーブ 4,000 水割 250 キリンビール（中）300 9:00 AM ~ 11:00 PM 日曜休み

Night in February



COFFEE・GRILL・WINE・JAZZ

ジヤズドスル

大阪ロイヤルホテルで腕をみがいたコックの料理。銘機から流れるジャズ。奥にはボックス席もある。ロバートブラウン / キーブ 6,000 水割 500 キリンビール（小）500 11:30 AM ~ 2:00 AM 年中無休

生田区北長狭通2丁目8
トアロード秀栄ビルB,

☎ 392-1253



御食事処

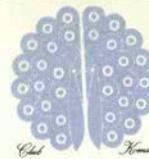
志摩

灘区楠ヶ丘4丁目5-6
阪急六甲浜側東500米

☎ 821-5519

ステーキや野菜いためなど好みに応じて各種の鉄板焼きが味わえる。若い人が多く活気ある店。ロバートブラウン / キーブ 5,000 水割 400 キリンビール（小）300 6:00 PM ~ 3:00 AM 第1・3日曜休み

華やいだ雰囲気のなかであたたかな心が通い合ういつもの店。



小万

岩本 起代子

神戸市生田区中山手通1丁目114-1(東門筋)中島ビル3F

☎ 391-0638・4386





美女ありて 今宵も旨き 灘の酒

呑むほどに：酔うほどに：話もはずみ興に乗る
そんな酒徒の憩いの場 今日もにつこり微笑むママがいる



クラブ

鈴

山田昌子

神戸市生田区中山手通1丁目111-1

ローズプラザビル 1F

TEL (078)331-2403

MY FUNNY VALENTINE

• Sweet comic Valentine, You make me smile with my heart



静かな山の手にボツンと看板が……。扉のむこうはあなたをとりこにするメキシコの世界。

連日生演奏：ロスティファーナ

メキシコ料理の店

TIJUANA

生田区中山手通1 ☎ 242-0043



好評ボトルサービス リザーブ 3,900円。おつまみ 600円均一。豪華で良心的なお店「ルカ・カルトン」へどうぞ。

お酒・お食事

Lucas Carton

生田区北野町3 ☎ 241-4323~4



の時、若い人たちの熱気にあふれ、ジャズが流れる神
らしい粋な雰囲気——サテンドールの夜と酒。

ジャズ ライヴ

SATIN DOLL

生田区中山手通1 ☎ 242-0100



かけさまで開店二年目のステップを踏み始めました。
り一層のご愛顧の程お願い申し上げます。北村かほる

ステーキ&ドリンクス

神戸館

生田新道農業会館向い アマツビル1F ☎ 321-2955

NIGHT IN KOBE

● ヴァレンタイン——あなたと私だけの神戸の夜



ヴァレンタインの愛の告白——あなたのロマンチックな夜はジャズとスコッチのレオパルドから始まります。

LEOPARD

生田区中山手通2 東門ダイワナイトプラザ6F

☎ 391-0992・2125



「私たちの食べるお肉はあれじゃない? 炭焼きステーキってグーね」「うん、美味しい! 値段も安心だしね」

ビフテキの 凱旋門

三宮農業会館東駐車場北 ☎ 321-3378



お酒を飲みながらのお食事。そうしてご自慢のノドを揃——とあなたも阿羅仁でのひとときをお楽しみ下さい。

スナック 阿羅仁 あらじん

生田区中山手通1 ☎ 391-0865



白い壁と緑のじゅうたんが豪華なムードで、若い女性が気軽に楽しめる「ホワイトハウス」がオープンしました。

WHITE HOUSE

生田区中山手通1 ☎ 331-1111



PUB & RESTAURANT

U
PLANDS

生田区加納町3丁目
1-34
☎241-8271



RESTAURANT

SWISS CHALET

生田区北野町3丁目48
アニルドマンション1F
☎221-4343

KOBE DRINKING GUIDE

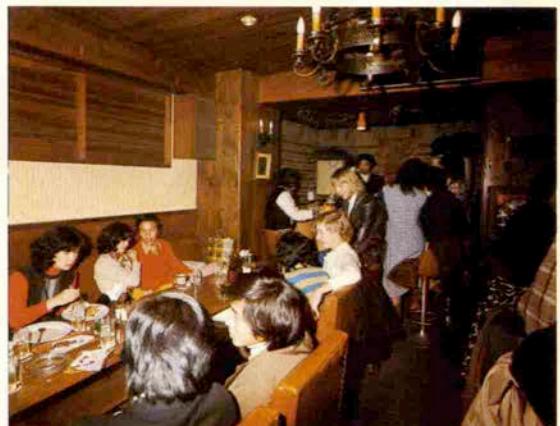
FENDI

生田区北長狭通2-5-1
良友ビル地階
☎391-3628



DRINKING IS AN ART OF LIFE
WOODHOUSE

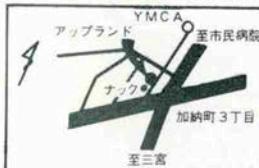
生田区中山手通1丁目32
山内ビル
☎241-7320・7983



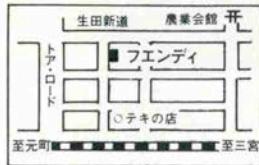
☆一日が暮れようとしている。仲間欲しきにいつもの店へ足を向ける。駅前広場を通過すると数人の男女が何やら相談をしている。「オレはいい気持ちで酔える店がいいね」「女性でも安心して行ける雰囲気のあるお店にしましょう」「それに酒だけじゃなくイカス音楽のあるところだとなおいい」「私はお腹が空いているので、お料理のおいしいところへ行きたいわ」「僕もそうだな。酒も余り強くないし……」どうやらこれからどこで食事をするか、アレやコレやと決めているらしい。と、間もなく「ここへ行くことにしよう」と意見が一致したらしい。どこへ行くのか興味がわいて来て彼らの後をつけて行くと、それは私がいつも行く“アップランド”だ。なるほど、誰の考えも同じだ。今夜は彼らと楽しいひとときがもてそうだ。

☆ローストビーフ￥2,700 ポークソーセージ￥900 シェバースパイ￥1,000 ステーキ&キビニイライ￥1,000 フィッシュ&チップス￥750 コーニッシュバースティ￥800 ブロス(ウェールズ風シチュー)￥800 J&B、G&G、OLD各￥500 ビール各￥400

5:00P.M～3:00A.M 日曜6:00A.M～3:00A.M 無休



アップランド



フエンディ

KOBE DRINKING GUIDE

スイスシャレー



ウッドハウス



☆ドアを開けるとシルバーグレーの世界がそこに広がっている……。ファーディ計画工房の松木伸雄さんの設計によって斬新なスタイルの店がオープンした。奈良の彫刻家、栄利秋さんの作品がファンタスティックな彩りを、神戸の造形作家、河口龍夫さんの版画が静かなムードを……この店に与えている。

みんなが楽しく、ママの手料理を賞味しながら、ゆっくりと落ち着いて飲める雰囲気がある。また、ドイツやブルガリアなどのワインが豊富に揃っており、この店へ来た人は大ていワイン党になって帰るか。特にハレスステーキ、サラダ、ワインボトルのセットがやすくておいしいと評判がいい。

☆ボトル / スコッチ￥8,000 リザーブ￥8,000
6:00P.M～0:00A.M

☆エキゾチックな北野の高台にあるいかにも神戸らしいシャレたセンスの可愛いお店。ふと足をとめたくなる、そんな店がまえ。スイス人の経営による本場スイスの家庭料理には手づくりのあたたかさが感じられます。ここより音楽が流れ、素敵な食事のあとひとときはハッピーな気分でいっぱいです。この季節にはチーズフォンデュ、ビーフフォンデュといったお料理はいかがでしょう。直輸入のスイスビールの他、スイスのワインも豊富に品揃えをしています。おいしい肉料理と豊潤な味と香りのワインの組み合わせはきっとお気に召すでしょう。他にも仔牛料理、魚料理などメニューも豊富でお値段もお手頃です。

0:00P.M.～10:00P.M. 月曜定休

☆その男は寒そうにトレントコートの襟を立てて、さっきからそこに立っていた。鋭い眼つき。足下にはすでに幾つかのタバコの吸い殻が落ちている。男は胸ポケットから億劫そうに新たに一本を取り出す。カチッ。ライターの炎が男の顔を赤く照らし出す。一瞬、ニヒルな笑いが冷酷そうな薄い唇に浮かぶ。フーッ。白い煙が夜の闇に吸い込まれる。と、そのとき、一つの足音が男に近づく。男の眼に青白い閃光が走る。女だ！黒いコートに身を包んだ若い女の影が男に近づく。男は火をつけたばかりのタバコを舗道に棄て、そして、女に……。「ネエ、ボク、ものすごく待ったんだよ」「あら、そう。お氣の毒」ふたりの姿はいつものようにな“ウッドハウス”的扉の中へ消えたのだった。

☆ビール(小)￥400 水割(OLD)￥500 おつまみ￥200 スパゲティ・ピラフ各￥500 キーブ G & G ￥6,000 レギュラースコッチ￥7,000
平日5:00P.M～4:30A.M 日曜5:00P.M～0:00A.M 第1・第3月曜休み